

県議会開会中

一般質問と決算特別委員会で質疑

新年あけまして

おめでとうございます。

令和6年も県政の諸課題に

しっかりと向き合い

賛否が割れる課題についても意見を明確にしていきます。

11月議会一般質問

Q1 佐賀駐屯地(仮称)

11月29日に米空軍C V-22オスプレイが墜落する事故が発生した。亡くなられた隊員の方々に対しても心からご冥福をお祈りします。これまで訓練中に亡くなられた多くの隊員の方々の、國を守るという思いをつないでいく為にも、國防への動きを止めることではなく、訓練の練度も低下させではないと考える。今回の事故の対応について伺う。



■建設中の駐屯地

山口知事 防衛省に対し迅速な情報提供と徹底した原因究明を米当局に求めるよう要請した。国防は重要であり、安全保障環境は激しさを増している。事故に関して強い関心を持つて注視していく。

Q2 県立大学

県内には県立大学設置反対の意見も根強い。しかし、教育の場の提供に対して投資を惜しまずでないとも考える。県立大学設置は何より、実際に大学に通う若者目線で取組む必要がある。学生と意見交換をしたが、学生たちは目的意識をはつきり持っている。今後、様々な場での議論から出た意見を集約し、賛成し得る構想を打ち出してもらいたい。



■オスプレイ見学会

山口知事 佐賀県は普通に備わっているべき大学という機能が圧倒的に不足している。大学設置によって機会創出をしたい。引き続き、多くの人の意見を聞いて、夢が描ける大学をつくり、佐賀にしかできない、佐賀ならではの価値を生み出す新しい大学をみなさんと一緒につくり上げたい。

政策部長 若者の意見と視点は大変重要である。学部については、I-Tとマネジメントを柱としたい。また、県全体を学びのフィールドとするような取組みも考えている。そして、リカリエント教育での学び直しと子供たちも普段づかいでできるような大学を目指したい。引き続き、県民からの意見も反映し、県民の期待に応えられる大学にしたいと考えている。



■一般質問登壇(12月6日)

決算特別委員会 (11月7日~11月17日)

佐賀県においては、インバウンドに対する多言語化の取組み

佐賀県では、公共交通の利便性の向上や利活用の促進に向けた取組みを行っている。ユニバーサルデザインタクシーが持つ福祉性や利便性を活用し、社会に優しい移動手段として更なる普及を願っている。



■決算特別委員会質疑(11月16日)

Q1 ユニバーサルデザインタクシーの普及

佐賀県では、公共交通の利便性の向上や利活用の促進に向けた取組みを行っている。ユニバーサルデザインタクシーが持つ福祉性や利便性を活用し、社会に優しい移動手段として更なる普及を願っている。

Q2 インバウンドに対する多言語化の取組み

佐賀県においては、インバウンドのみ傾倒するのではなく、国内観光客の誘致にこそ力を注ぐべきであり、多言語化での表記等も安易に進めるべきではない。今後、国際情勢やコロナ感染症等で左右されない観

Q3 港湾の保安

佐賀県の重要な港湾である、唐津港、伊万里港について違法な侵入を防止するために水際対策が今後も必要になると考へる。令和元年には外国人船員の逃亡事案も発生している。犯罪やテロにつながる事案に発生しないよう未然に防ぐ取組みが必要であると思うが所見を伺う。

Q4 九州佐賀国際空港の滑走路延長

佐賀空港のポテンシャルを大いに発揮していく為、また「佐賀空港が目指す将来像」に近づく為に、滑走路延長を早期に実現すべきと考えるが県の考えを伺う。

Q5 九州佐賀国際空港は無限の可能性を秘めた空港だと考えている。航空貨物輸送拠点の機能強化、近隣空港との代替機能の強化、また防災拠点としての強化という観点から滑走路延長のメリットはあると考えている。

青木 佐賀をゆく
■朝のご挨拶と街頭活動にも取組んでいます!
■地元の清掃活動にも積極的に参加しています!
■草刈り等のボランティア活動にも汗を流します!
■県政への窓口として事務所を設置しています!

青木 佐賀をゆく
オフィシャルホームページ
<https://aokikazunori.com/>

議会での登壇映像をご覧いただけます

QRコード

QRコード

青木 かずのり事務所

〒840-0842 佐賀市多布施1丁目11-12 1F
TEL0952-97-9323 FAX0952-97-9324